



令和8年度 第25号

運動会に向けて、全校始動！

2学期のスタートと同時に、運動会へのカウントダウンが始まりました。本番まではわずか2週間。学年（学部）の中には、なんと始業式の当日から元気いっぱいに練習を開始しているところもありました。

本番に向けて突き進む子どもたちの様子を、一部ではありますがさっそくご紹介します。

【小学部3・4年生】 小学部 3・4 年生は、集団演技「よっちょれ」の練習をスタートしました。「よっちょれ」とは、高知県のよさこい鳴子踊りなどで使われる掛け声や曲名で、土佐弁で「そこをどいて、こちらに寄りなさい」という意味があるそうです。1学期に中学部の有志がオメガングで披露した「よさこいソーラン」とも、通じるものがありそうです。写真は練習初日の様子です。これから練習を重ねるごとに、どんどん仕上がっていくのが今からとても楽しみです。



【中学部】 中学部の集団演技の題名は検討中ですが、目指す方向性はしっかりと定まっています。掲げられたスローガンは「One Team ～私たちの青春を楽しめ!～」です。

日頃の様子を見ても、行事を通して生徒たちの自主性や主体性が確実に育っていると感じます。本校の児童生徒が主体性を発揮できるのは、自分たちで決定できる場があり、互いの失敗を認め合い、結果だけでなくプロセスを評価する環境があるからに他なりません。

今日の練習でも、中心となって皆を引っ張るリーダーと、それを支える最高のフォロワーたちが素晴らしい「One Team」の姿を見せてくれました。生徒たちの大きな成長を実感しています。



今日の授業風景（小学部1年生）

2学期初日の8月19日（水）3時間目、小学部1年生の教室を訪ねました。B組は移動教室で活動中の様でした。

A組の教室では学級活動が行われており、「2がっきのめあてかあど」作りの真っ最中。「せいかつ」の項目では「ろうかをすずかにあるく」「やさしくみんなにおしえる」など、周囲を思いやる意見が出されていました。また「がくしゅう」の項目では「ひらがな、かたかな、かんじをていねいに、じょうずにかく」といった目標に加え、「ふらんすごをすらすらはなす」という頼もしい声もあがっていました。どれも子どもたちのやる気と成長が感じられる、素敵な目標ばかりです。



【お知らせ】草木撤去作業について

※ 8月20日(木)に、教頭から送信した「お知らせメール」と同様の内容です。

日時： 8月26日(水) 13:00～16:50の間

場所： 本校正門付近(本校正門前～保健室横駐車場～駐車場奥の倉庫前)

内容： 草木撤去作業のため重機が敷地内に入ってきます

影響： ①正門からの出入りができません ⇒ この時間は、裏門を利用ください

②保健室～グラウンド間には立ち入りできません

ご理解とご協力をよろしくお願いします。

校長のつぶやき



夏休みを利用して、家族旅行に出かけられたご家庭も多かったことと思います。我が家もそんな内の一家族(夫婦二人だけですが…)です。最近は公共交通機関での移動に少し大変さを感じるようになり、もっぱら車での旅行が定番となっています。

そんな車旅に欠かせない、最も頼りになる存在が「カーナビ」です。道路データが古くてたまに迷うこともありますが、目的地へ導いてくれる心強い味方です。実はこのカーナビの姿から、私自身、深く考えさせられることがあります。名付けるなら「カーナビに学ぶ親の姿勢」です。

私には二人の子どもがいますが、お世辞にも私は「立派な親」だったとは言えません。「あの時こうしていれば…」と、今でも反省ばかりです。しかし今になって、カーナビの「導き方」から、子育てや子どもとの向き合い方に多くのヒントが学べた思いでいます。カーナビを「親(教師)」、運転手を「子ども」に置き換えると、次のような大切なことに気づかされます。

- ・ 目的地は運転者(子ども)が決める
- ・ ナビはあくまで「導く」立場であり、運転するのは運転者(子ども)自身
- ・ ルートを外れても決して責めず、その地点から新しいルートを再計算する
- ・ どれだけ道を間違えても、ナビが目的地への案内を諦めることはない

振り返ってみて、自分自身がカーナビのように子どもたちを導けていたかと問われると、恥ずかしい限りです。カーナビは常に運転手に「寄り添い」「導き」「非難せず」「諦めない」存在です。成人した我が子を昔に戻って育て直すことなどできませんが、学校にいる大切な子どもたちに対して、これからも一教員としてこのような姿勢で接していきたいと思っています。